

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	3	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	国民健康保険特別会計繰出金	保険年金課			①国民健康保険法第72条の3等の規定により、一般会計から国保特別会計に繰出金を支出する。 ②給付費が年々増加していること、また、共同安定化事業の対象経費の変更等により、一般会計からの赤字繰入れが増加することが予想される。	971,675	929,054	6精査・検証	①国民健康保険法で、一般会計から国保特別会計に繰り入れるよう定められている。 ②今後も国民健康保険法の定めに従い事務を進め、また、国民健康保険料の徴収努力を続けていく。	1,126,321
2	一般	3	1	6115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療事務費負担金に要する経費	保険年金課	○		①後期高齢者医療制度を運営する広域連合の運営費として市町村負担金を納付する。 ②負担金の額は、広域連合規約第18条により決まっており被保険者数の増加により財源を確保するのが難しい。	28,163	25,348	6精査・検証	①広域連合規約により、負担している。 ②広域連合規約に基づき、負担金を支出する。(均等割・市の人口割・市の後期高齢者人口割)	30,692
3	一般	3	1	6115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療費負担金に要する経費	保険年金課	○		①後期高齢者医療の運営は広域連合が行い、市は医療費の法定負担割合の12分の1を負担する。 ②被保険者の増加により財源を確保するのが難しくなっている。	537,347	616,560	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、負担している。 ②高齢者の医療の確保に関する法律第98条に基づき、負担金を支出する。(法定負担割合12分の1)	612,858
4	一般	3	1	6115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療特別会計繰出金	保険年金課			①低所得者への保険料軽減措置を補填する保険基盤安定負担金の繰出金、電算経費などの事務費繰出金。 ②被保険者の増加により財源を確保するのが難しくなっている。	120,418	127,782	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、事務を行っている。 ②迅速かつ的確な事務処理を行う。	150,650
5	一般	3	1	6115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者保健事業に要する経費	保険年金課	○		①実施主体である広域連合との委託契約により、市が実施する健康診査である。 ②受診率を上げることが課題である。	30,059	32,935	6精査・検証	①国の施策として、医療費の抑制を目的として健康診査以外の事業(保健師の巡回指導)が求められる。 ②国の実施基準に基づき、健康診査を個別形式で行う。	52,903
6	一般	3	1	7115安心して暮らせる社会保障の充実	国民年金事務に要する経費	保険年金課	○		①住民からの届出に基づき国民年金の加入・喪失等の受付、記録の作成、管理を行い、日本年金機構へ報告する。 ②受付件数が年々増加する中で、いかに効率的かつ低コストで処理できるかが今後の課題。	7,686	6,959	6精査・検証	①法定受託事務という位置づけであるが、業務手法等について検証の上、継続することが必要なため。 ②度重なる法改正に対応し、年金事務所と連携を取りながら効率的に業務を遂行する。	8,059
7	一般	3	1	1115安心して暮らせる社会保障の充実	中国残留邦人等の支援に要する経費	社会福祉課			①高齢基礎年金を満額受給しても、なお生活の安定を十分に図ることができない特定中国残留邦人とその配偶者を対象に、原則として生活保護法の例により支援給付を行う。 ②支援給付対象者の高齢化が進み、介護の問題が重要な課題となっている。	18,425	16,413	6精査・検証	①法定受託事務として実施。支援相談員の配置により相互理解がより深まり、円滑な事務遂行がなされている。 ②今後も引き続き、支援給付対象者とその家族、支援相談員、ケースワーカー、関係機関と十分に連携しながら適切な処遇を実施していく。	23,777
8	一般	3	1	1115安心して暮らせる社会保障の充実	住宅支援給付事業に要する経費	社会福祉課			①勤労意欲があるにも関わらず、住居を喪失している者又は喪失する恐れがある者を対象に6か月間(最大9か月間)を限度に家賃額を支給する。 ②平成22年度を頂点に年々制度を利用する者が減少している。	4,309	1,611	6精査・検証	①年々利用者が減少し、制度の見直しも検討されるが、国庫補助事業であることから、国の動向に注目する必要がある。 ②住宅支援給付事業の適正な運用。	8,823
9	一般	3	3	1115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護事務に要する経費	社会福祉課			①生活保護事務に要する経費(電子レセプト点検委託料、生活保護電算処理システム使用料、非常勤職員賃金、その他消耗品費等) ②生活保護費の増加に伴い、今後とも事務費の増大が見込まれる。	73,716	115,229	6精査・検証	①生活保護事務に要する経費は法定受託事務であり、必要不可欠なものであるため、事業の継続は必要と考える。 ②電子化されたレセプトや生活保護システムの活用などにより、適正な給付に努めていく。	10,702
10	一般	3	3	2115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護に要する経費	社会福祉課	○		①生活に困窮する被保護者に対して最低限度の生活を保障しつつ、被保護者の経済的自立、精神的自立を支援する。 ②年金受給権のない高齢者や働くことのできない者の増加により今後とも生活保護受給者は増加する見込みである。	2,027,079	2,190,419	6精査・検証	①生活保護は、生活困窮者にとって必要不可欠な制度であるため、今後も法定受託事務として市の実施が見込まれる。 ②生活保護制度は国の制度であり、また生活保護世帯の増減は、社会的背景に影響されるため、市としてコントロールすることは難しい。	2,492,505
11	国保	1	1	1115安心して暮らせる社会保障の充実	資格・給付等に要する経費	保険年金課			①国民健康保険の資格の取得及び喪失を把握し、被保険者証の交付、回収及び更新を行う。 ②高齢化による医療費の増加に伴い、給付額の増加が見込まれる。	46,756	46,123	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき実施する。 ②資格の適正化や、医療費の適正な給付を行う。	53,266
12	国保	1	1	2115安心して暮らせる社会保障の充実	国保連合会等に要する経費	保険年金課			①県、国保連合会からの通知により負担金を支払う。内訳は、被保険者数割による事務費負担割と均等割がある。 ②各保険者が共同で国保事業の円滑な推進を図っている。	3,670	3,642	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき実施する。 ②各保険者が共有する事務処理を委託して行うことにより、効率化を図る。	3,643

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多額 の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
13	国保	1	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	国保料(税)の賦課徴収に要する経費	保険年金課			①国民健康保険料の徴収 自宅への個別訪問 口座振替の推奨。 ②国民健康保険事業の財源の安定確保について、収納員徴収のみではなく、口座振替の推奨を更に勧める。	44,852	40,244	6精査・検 証	①収納員報酬は生じるが、収納率の向上に一定の効果がある。また、被保険者の生活状況調査などにも活用できるので有効である。 ②口座振替の推奨を更に勧めるため、口座振替の原則化の研究を行う。	45,139
14	国保	1	3	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	運営協議会に要する経費	保険年金課			①国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議し、国民健康保険事業の適正化を図る。 ②国民健康保険運営協議会は、公益、保険医、被保険者、被用者保険それぞれの立場から意見を交換・審議し、国民健康保険事業の運営に反映されるようにしている。	69	81	6精査・検 証	①運営協議会は、市町村の必置の機関である。 ②国民健康保険の運営については、法律、条例等により引き続き適正な国民健康保険の運営に努める。	184
15	国保	2	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者療養給付費に要する経費	保険年金課			①疾病や負傷等により、保険証を提示して医療機関で診察を受けた場合、保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に医療費を支払う。 ②医療の高度化や被保険者の高齢化などにより、療養給付費は年々増加している。	6,397,392	6,487,653	6精査・検 証	①国民皆保険制度のもと、保険者は被保険者の病気や怪我の際に、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	6,905,689
16	国保	2	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等療養給付費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が疾病や負傷等により、保険証を提示して医療機関で診察を受けた場合、保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に医療費を支払う。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、療養給付費も減少している。	448,450	400,049	6精査・検 証	①国民皆保険制度のもと、保険者は被保険者の病気や怪我の際に、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	380,347
17	国保	2	1	3	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者療養費に要する経費	保険年金課			①被保険者が柔道整復師の施術、あんま・はり・灸などの施術を受けた場合、また、被保険者証が提示ができないために療養の給付が受けられなかった場合に、事後において償還払いをする。 ②柔道整復師の施術、あんま・はり・灸などの施術が増えており、療養費は年々増加している。	118,306	120,983	6精査・検 証	①国民皆保険制度のもと、保険者は被保険者の病気や怪我の際に、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	131,580
18	国保	2	1	4	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等療養費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が柔道整復師の施術、あんま・はり・灸などの施術を受けた場合、また、被保険者証が提示ができないために療養の給付が受けられなかった場合に償還払いをする。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、療養費も減少している。	6,280	5,958	6精査・検 証	①国民皆保険制度のもと、保険者は被保険者の病気や怪我の際に、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	6,107
19	国保	2	1	5	115安心して暮らせる 社会保障の充実	審査支払手数料に要する経費	保険年金課			①医療機関が請求する医療費の内容について、国保連合会に設置している審査機関が審査し、その審査手数料を各保険者が支払っている。 ②被保険者の高齢化などにより、受診件数は増加しているが、電算化により、単価が下がっている。	21,620	20,136	6精査・検 証	①国民健康保険法第45条の規定に定めるところにより審査手数料の支払いが義務付けられている。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	19,353
20	国保	2	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者高額療養費に要する経費	保険年金課			①同じ月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請により自己負担額を超えた分を償還する。 ②医療の高度化などにより、高額療養費は年々増加している。	758,014	768,507	6精査・検 証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むように、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	836,424
21	国保	2	2	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等高額療養費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が、同じ月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請により自己負担額を超えた分を償還する。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、高額療養費も減少している。	64,712	57,751	6精査・検 証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むように、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	55,345
22	国保	2	2	3	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			①医療保険と介護保険の1年間分の自己負担額の合算額が高額になった時、申請により自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②高齢化に伴い、医療保険と介護保険の負担が増大していくことが予測される。	305	443	6精査・検 証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むように、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	500
23	国保	2	2	4	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が、医療保険と介護保険の1年間分の自己負担額の合算額が高額になった時、申請により自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少している。	0	0	6精査・検 証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むように、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	300

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
24	国保	2	3	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者移送費に要する経費	保険年金課			①負傷、疾病等により移動が困難な場合、医師の指示により一時的、緊急的な必要があって移送された場合に、移送費を支給する。 ②緊急性がある必要があるため、該当となるケースが少ない。	0	0	6精査・検 証	①被保険者に緊急な移送があった時に、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	200
25	国保	2	3	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等移送費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が、負傷、疾病等により移動が困難な場合、医師の指示により一時的、緊急的な必要があって移送された場合に、移送費を支給する。 ②緊急性がある必要があるため、該当となるケースが少ない。	0	0	6精査・検 証	①被保険者に緊急な移送があった時に、法定給付を行う。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	200
26	国保	2	4	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	出産育児一時金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険、被保険者が出産した場合(妊娠85日以上)の死産・流産を含む)に39万円を支給する。なお、産科医療制度に加入している病院で出産した場合には、3万円を上乗せする。 ②出産率が低下しているため、減少が予想される。	64,019	62,308	6精査・検 証	①被保険者の出産に係る費用の負担を緩和する。 ②今後とも、出産育児一時金の積極的なPRを図っていく。	71,436
27	国保	2	5	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	葬祭費に要する経費	保険年金課			①国民健康保険、被保険者が死亡した場合に喪主に5万円を支給する。 ②今後は、年間200人前後の支給で推移すると予想される。	10,100	11,050	6精査・検 証	①被保険者の葬祭に係る費用の負担を緩和する。 ②葬祭費の制度を知らない被保険者もいるため、ホームページや対象者への通知により、周知していく。	12,500
28	国保	3	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	後期高齢者支援金に要する経費	保険年金課			①平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まり、この制度の財政負担は被保険者が1割、公費が5割、残り4割は各医療保険者(被用者保険・国民健康保険)の保険者数に応じて負担することとなった。 ②高齢化が進むことにより、支援金の負担が伸びることが予想される。	1,664,570	1,771,592	6精査・検 証	①高齢者医療の確保に関する法律第118条第1項の規定に基づき支援金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	1,769,743
29	国保	3	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	後期高齢者関係事務費拠出金に要する 経費	保険年金課			①保険者から後期高齢者支援金等を徴収し、後期高齢者医療広域連合に対し、後期高齢者交付金を交付する業務及びこれに附帯する業務に要する費用に充てるため、年度ごとに保険者から、後期高齢者関係事務費拠出金を徴収する。 ②高齢化が進むことにより、拠出金の負担が伸びることが予想される。	122	140	6精査・検 証	①高齢者医療の確保に関する法律第118条第1項の規定に基づき拠出金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	152
30	国保	4	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	前期高齢者納付金に要する経費	保険年金課			①65歳から74歳の方を対象とした、医療保険(国保・被用者保険)の加入者に係る給付費及び後期高齢者支援金について保険者間の前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整するために納付金を納付する。 ②高齢化が進むことにより、納付金の負担が伸びることが予想される。	1,678	1,722	6精査・検 証	①高齢者医療の確保に関する法律第36条第2項の規定に基づき納付金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	1,183
31	国保	4	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	前期高齢者関係事務費拠出金に要する 経費	保険年金課			①保険者から前期高齢者納付金等を徴収し、保険者に対し前期高齢者交付金を交付する業務及びこれに附帯する業務に要する費用に充てるため、年度ごとに保険者から、前期高齢者関係事務費拠出金を徴収する。 ②高齢化が進むことにより、拠出金の負担が伸びることが予想される。	119	140	6精査・検 証	①高齢者医療の確保に関する法律第36条第2項の規定に基づき拠出金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	123
32	国保	5	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	老人保健医療費拠出金に要する経費	保険年金課			①老人保健医療事業に要する費用に充てるため、各保険者が拠出金を納付する。 ②後期高齢者医療制度が創設されたため、老人保健医療費拠出金は、平成20年3月以前の医療費の精算を残すのみとなっている。	0	352	4縮小	①後期高齢者医療制度の創設により、老人保健医療費拠出金は清算金を拠出していく。 ②老人保健法に基づき拠出金を支払う。	1
33	国保	5	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	老人保健事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①老人医療の審査、支払等に係る事務費で、各保険者が拠出金を納付する。 ②後期高齢者医療制度が創設されたため、老人保健医療費拠出金は、平成20年3月以前の医療費の精算を残すのみとなっている。	66	58	4縮小	①後期高齢者医療制度の創設により、老人保健医療費拠出金は清算金を拠出していく。 ②老人保健法に基づき拠出金を支払う。	59
34	国保	6	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	介護納付金に要する経費	保険年金課			①介護保険事業に要する費用に充てるため、各保険者が納付金を納付する。 ②高齢化が進み介護保険の需要が伸びることが予想される。	641,604	689,367	6精査・検 証	①介護保険法第150条第2項の規定に定めるところにより、負担することが義務付けられている。 ②介護保険法に基づき事務を進める。	695,136
35	国保	7	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	高額医療費共同事業医療費拠出金に 要する経費	保険年金課			①高額医療費共同事業は、小規模保険者の運営基盤の安定化を図るため、市町村からの拠出金を財源に都道府県単位で調整している。 ②医療の高度化に伴い、拠出金が増額となることが予想される。	265,628	263,702	6精査・検 証	①国民健康保険法附則第14条及び第15条の規定に定めるところにより拠出金を納付することが義務付けられている。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	304,544
36	国保	7	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	保険財政共同安定化事業拠出金に要する 経費	保険年金課			①保険財政共同安定化事業は、財政の安定化を図るため、30万円超の医療費について、市町村からの拠出金を財源に都道府県単位で調整している。 ②現在、県及び市町村間で調整方法について見直しを行っており、拠出金が増額となることが予想される。	859,509	872,086	6精査・検 証	①国民健康保険法附則第14条及び第15条の規定に定めるところにより拠出金を納付することが義務付けられている。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	926,174

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
37	国保	7	1	3	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職者医療事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の中で、社会保険診療報酬支払基金が行う退職者医療関係業務の財源のために拠出している。 ②平成27年度から新しい高齢者医療制度へ引き継がれる。	3	3	4縮小	①退職者医療制度は平成27年度から縮小していく。 ②引き続き退職者医療制度該当者の振替を積極的に行っていく。	4
38	国保	8	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	疾病予防に要する経費	保険年金課			①健康福祉フェア等において、生活習慣病等の予防に関する知識の普及・啓発を実施している。 ②保健事業は、疾病予防、健康管理に大きな影響を与えるため、ますます重要性が高まる。	2,797	2,411	6精査・検証	①保健事業は、医療費抑制の観点から、生活習慣病の対応が法律で義務付けられ、ますます重要性が高まっていく。 ②生活習慣病などの疾病予防、健康管理のための健康教育を行う。また、医療費通知をすることにより、自らの健康状態を管理し、適正受診の認識を周知する。	2,582
39	国保	9	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	国民健康保険財政調整基金積立金に要する経費	保険年金課			①決算等の状況により、高額な医療費の発生等予期せぬ要因に基づく保険財政の変動に対応するため、国民健康保険財政調整基金への積み立てを行っている。 ②毎年、基金からの繰入を行っており、国民健康保険の財政状況は、非常に苦しい状況にある。	400,001	0	6精査・検証	①決算状況により、確実に積み立てを行い財政基盤の安定に努めた。 ②国民健康保険の財政基盤を安定させるため、収支状況に応じて適切に積み立てを行う。	1
40	国保	10	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者保険料還付金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税の過年度分の重複納付・更正減額等による過誤納付金の還付事務。 ②重複納付の防止策を検討し、充当処理も活用して還付件数を減らし、未収納額を抑える。	7,302	7,734	6精査・検証	①国民健康保険法に基づいて実施しているものなので、公金管理上、必要不可欠である。 ②還付理由の大半が重複納付のため、重複納付防止に向けた対策を講じていく。	9,350
41	国保	10	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等保険料還付金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税の過年度分の重複納付・更正減額等による過誤納付金の還付事務。 ②重複納付の防止策を検討し、充当処理も活用して還付件数を減らし、未収納額を抑える。	649	93	6精査・検証	①国民健康保険法に基づいて実施しているものなので、公金管理上、必要不可欠である。 ②還付理由の大半が重複納付のため、重複納付防止に向けた対策を講じていく。	550
42	国保	10	1	3	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者保険税還付金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税の過年度分の重複納付・更正減額等による過誤納付金の還付事務。	0	0	2廃止	①還付分(国保税も含む)、還付加算金分を一般被保険者、退職被保険者それぞれに予算をまとめたので、平成26年度以降の予算科目は廃目となった。	0
43	国保	10	1	4	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等保険税還付金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税の過年度分の重複納付・更正減額等による過誤納付金の還付事務。	0	0	2廃止	①還付分(国保税も含む)、還付加算金分を一般被保険者、退職被保険者それぞれに予算をまとめたので、平成26年度以降の予算科目は廃目となった。	0
44	国保	10	1	5	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者保険料還付加算金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険料還付加算金等による還付事務。	0	183	2廃止	①還付分(国保税も含む)、還付加算金分を一般被保険者、退職被保険者それぞれに予算をまとめたので、平成26年度以降の予算科目は廃目となった。	0
45	国保	10	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等保険料還付加算金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険料還付加算金等による還付事務。	0	25	2廃止	①還付分(国保税も含む)、還付加算金分を一般被保険者、退職被保険者それぞれに予算をまとめたので、平成26年度以降の予算科目は廃目となった。	0
46	国保	10	1	7	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者保険税還付加算金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税還付加算金等による還付事務。	0	0	2廃止	①還付分(国保税も含む)、還付加算金分を一般被保険者、退職被保険者それぞれに予算をまとめたので、平成26年度以降の予算科目は廃目となった。	0
47	国保	10	1	8	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等保険税還付加算金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税還付加算金等による還付事務。	0	0	2廃止	①還付分(国保税も含む)、還付加算金分を一般被保険者、退職被保険者それぞれに予算をまとめたので、平成26年度以降の予算科目は廃目となった。	0
48	国保	10	1	9	115安心して暮らせる社会保障の充実	国庫支出金等精算返還金に要する経費	保険年金課			①療養給付費等国庫負担金及び療養給付費等交付金に対する返還金 ②毎年、係数をかけ多めに補助されるため、返還金が生じる。	128,579	94,228	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき精算返還金の義務を負う。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	1
49	国保	10	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般会計繰出金	保険年金課			①国民健康保険特別会計の決算に伴い、繰越金のうち、一般会計へ繰戻しが必要な金額の繰出しを行う。 ②国民健康保険特別会計は、財政的には非常に厳しい状況にあり、効率的な財政運営が求められている。	355,270	304,757	6精査・検証	①決算状況により、国民健康保険の運営や一般会計の状況などを調整し、必要な繰出しを行った。 ②収支状況から適切に繰出しを行い、国民健康保険の運営を円滑に行えるよう努める。	1
50	国保	8	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	特定健康診査等に要する経費	健康増進課	○		①年1回特定健康診査を実施。生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨値を呈した人への受診勧奨を行う。 ②受診率は目標値に届かず、医療給付費の減少は見られていないことから、未受診者対策を継続し、健診受診者の事後指導を医療費削減につながるよう実施する。	68,971	74,720	6精査・検証	①法律で定められた健診であり、効果を精査・検証しながら進めていきたい。 ②特定健康診査受診者に対する糖尿病重症化予防。受診勧奨値を呈した者については、未受診者を確認し継続フォローを実施する。	88,183

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
51	後期	1	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者の資格・給付に要する経費	保険年金課			①被保険者証の交付・高額療養費・療養費・葬祭費等の受付事務 ②被保険者数の増加により窓口と電話を的確に対応していくのが課題である。	6,804	6,686	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、事務を行っている。 ②被保険者証交付事務において、負担割合の誤り、旧保険証の誤使用がないよう、回収及び破棄のご案内の強化に努める。	7,437
52	後期	1	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療保険料の徴収に要する経費	保険年金課			①後期高齢者医療広域連合の決定した保険料の徴収をする。原則年金天引き、それ以外は納付書によりお支払いいただく。 ②収納率を上げることが課題である。	13,367	10,115	7拡充	①納付相談、電話番号、臨戸訪問徴収、収納員訪問徴収簿により収納率を上げていく必要があるため。 ②滞納状況の把握及び改善に努めるとともに、新規加入者の口座振替依頼を推進する。	12,889
53	後期	1	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	広域連合納付金に要する経費	保険年金課			①市が徴収した保険料を、後期高齢者医療広域連合に保険料等納付金として納付する。 ②迅速かつ的確な事務処理を図るとともに、収納率を上げることが課題である。	762,286	818,640	7拡充	①定期的な保険料徴収状況の確認を行うことで、より一層の効率化を図る。 ②定期的な保険料徴収状況の確認を行うことで、保険料徴収における収納率上昇に結びつける。	916,982
54	後期	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療保険料還付に関する経費	保険年金課			①保険料の更正・減額による還付金の還付未済分の還付。 ②迅速かつ的確な事務処理を行っていくことが課題である。	649	1,077	7拡充	①保険料更正後の通知をより早期化する必要があるため。 ②高齢者の医療の確保に関する法律112条により、事務を行っており、迅速かつ的確な事務処理を行う。	2,601
55	後期	3	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般会計繰出金	保険年金課			①後期高齢者医療事務費額の超過分を一般会計に繰り出す。 ②被保険者数の増加による後期高齢者医療保険事業財源の確保。	5,206	4,071	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、事務を行っている。 ②迅速かつ的確な事務処理を行う。	1